

性能規定発注方式 技術提案内容一覧表

年度	工事件名	交通量	技術提案	
			内容	
21	(国) 414号舗装補修(道路維持) 工事	N5	加-5式全自動クワリッパ仕様AF	
21	(国) 414号舗装補修(道路維持) 工事	N5	クワリッパ(6.5t)使用	
21	(国) 414号舗装補修(道路維持) 工事	N5	合材出荷、到着、敷均し、初転圧、二次転圧、解放温度の目標値を設定	
21	(国) 414号舗装補修(道路維持) 工事	N5	交通解放温度45℃	
21	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	TV方式AF使用	
21	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	クワリッパ(7.5t)使用	
21	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	瀝青安定処理に振動ローラー(7.5t)使用	
21	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	基層の平坦性1.6mm	
21	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	合材出荷、到着、敷均し、初転圧、二次転圧、解放温度の目標値を設定	
21	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	交通解放温度40℃	
21	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	瀝青安定処理14cmはツクリ工法	
21	(主) 三島裾野線舗装補修(道路維持) アスファルト舗装工事(性能規)	N6	改質Ⅱ型(交差点範囲内)	
21	(主) 三島裾野線舗装補修(道路維持) アスファルト舗装工事(性能規)	N6	TV方式AF使用	
21	(主) 三島裾野線舗装補修(道路維持) アスファルト舗装工事(性能規)	N6	HTS駆動式クワリッパの使用	
21	(主) 三島裾野線舗装補修(道路維持) アスファルト舗装工事(性能規)	N6	基層の平坦性2.0mm	
21	(主) 三島裾野線舗装補修(道路維持) アスファルト舗装工事(性能規)	N6	交通解放温度45℃	
21	(主) 三島裾野線舗装補修(道路維持) アスファルト舗装工事(性能規)	N6	路上再生路盤に基準高管理を追加	
21	(国) 469号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)(性能規定)	N6	改質Ⅱ型に変更	
21	(国) 469号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)(性能規定)	N6	瀝青安定処理を大粒径QPR工法に変更	
21	(国) 469号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)(性能規定)	N6	TV方式AF使用	
21	(国) 469号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)(性能規定)	N6	基層、大粒径の平坦性目標値を設定	
21	(国) 469号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)(性能規定)	N6	10m ² ツリに変更	
21	(国) 469号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)(性能規定)	N6	下層の継ぎ目より1m以上ツリをとる	
21	(国) 469号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)(性能規定)	N6	交通解放温度40℃	
21	(国) 469号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)(性能規定)	N6	2重ツリによる合材運搬	
21	(国) 469号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)(性能規定)	N6	縦断計画でツリ高を設定	
21	(一) 富士宮富士公園線舗装補修(道路維持) 工事(路上再生路盤工)	N5	TV方式自動クワリッパ制御装置付AF	
21	(一) 富士宮富士公園線舗装補修(道路維持) 工事(路上再生路盤工)	N5	HTSローラー使用	
21	(一) 富士宮富士公園線舗装補修(道路維持) 工事(路上再生路盤工)	N5	切削、路上再生路盤、基層の基準高さ管理	
21	(一) 富士宮富士公園線舗装補修(道路維持) 工事(路上再生路盤工)	N5	管理を10m ² ツリに変更	
21	(一) 富士宮富士公園線舗装補修(道路維持) 工事(路上再生路盤工)	N5	合材出荷、到着、敷均し、初転圧、二次転圧、開放温度の目標値を設定	
21	(一) 富士宮富士公園線舗装補修(道路維持) 工事(路上再生路盤工)	N5	交通解放温度40℃	
21	(一) 富士清水線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N6	TV方式AF使用	
21	(一) 富士清水線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N6	切削高さを5m ² ツリで管理	
21	(一) 富士清水線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N6	基層工の継ぎ目は前日施工箇所から1m戻り切削する	
21	(一) 富士清水線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N6	交通解放温度40℃	
21	(一) 富士清水線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N6	ツリ高後付け工法の採用	
21	(主) 川根寸又峡線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	TV方式大型AF(独フェール)使用	
21	(主) 川根寸又峡線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	基層工の継ぎ目は前日施工箇所から1m戻り切削する	
21	(主) 川根寸又峡線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	合材出荷、到着、敷均し、初転圧、二次転圧、開放温度の目標値を設定	
21	(主) 川根寸又峡線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	交通解放温度45℃(舗装面早期冷却機使用)	
21	(一) 伊久美元島田線舗装補修(道路維持) 工事(性能規定)	N5	BHから切削機へ変更	
21	(一) 伊久美元島田線舗装補修(道路維持) 工事(性能規定)	N5	ダブルセンサー付きAF使用	
21	(一) 伊久美元島田線舗装補修(道路維持) 工事(性能規定)	N5	仕上げ転圧にクワリッパ(4t)の使用	
21	(一) 伊久美元島田線舗装補修(道路維持) 工事(性能規定)	N5	10m ² ツリで管理	
21	(一) 伊久美元島田線舗装補修(道路維持) 工事(性能規定)	N5	交通解放温度40℃	
21	(一) 伊久美元島田線舗装補修(道路維持) 工事(性能規定)	N5	二次転圧クワリッパに非接触放射温度計を設置	
21	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事(性能規定)	N6	仕上げ転圧にクワリッパ(7t)の使用	
21	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事(性能規定)	N6	10m ² ツリで管理	
21	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事(性能規定)	N6	各層の継ぎ目が重ならないようにする	
21	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事(性能規定)	N6	交通解放温度40℃	
21	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事(性能規定)	N6	二次転圧クワリッパに非接触放射温度計を設置	
21	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事(性能規定)	N6	2重ツリによる合材運搬	
21	(主) 掛川大東線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)(性能規定)	N6	密粒AS(20)改質Ⅱ型に変更	
21	(主) 掛川大東線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)(性能規定)	N6	改質Ⅱ型に変更	
21	(主) 掛川大東線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)(性能規定)	N6	大粒径(QPR工法)改質Ⅱ型中温化採用	
21	(主) 掛川大東線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)(性能規定)	N6	BHから切削機へ変更し、一日当たり施工面積増	
21	(主) 掛川大東線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)(性能規定)	N6	TV方式大型AF(独フェール)使用	
21	(主) 掛川大東線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)(性能規定)	N6	標記層の継ぎ目を15cm以上すらす	
21	(主) 掛川大東線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)(性能規定)	N6	標記層の継ぎ目を2m以上すらす	
21	(主) 掛川大東線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)(性能規定)	N6	合材出荷、到着、敷均し、初転圧、二次転圧、解放温度の目標値を設定	
21	(主) 掛川大東線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)(性能規定)	N6	交通解放温度40℃	
21	(主) 掛川大東線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)(性能規定)	N6	2重ツリによる合材運搬	
20	(主) 下田松崎線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	マルチツリ試験時に締固め度とDSの関係図を作成	
20	(主) 下田松崎線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	5連式超音波ツリ付AF	
20	(主) 下田松崎線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	クワリッパ(7t)・非接触式放射温度計搭載クワリッパ	
20	(主) 下田松崎線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	二次転圧時に常に転圧温度を監視する	
20	(主) 下田松崎線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	現況測量、縦横断計画の測点、基準高管理ツリを10mに設定	
20	(主) 下田松崎線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	横継ぎ目は前日施工箇所から2~3m戻り切削する	
20	(主) 下田松崎線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	各段階の温度管理表を設定	
20	(主) 下田松崎線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	交通解放温度40℃以下	
20	(主) 下田松崎線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	2重ツリによる合材運搬	
20	(主) 下田松崎線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	10m毎の縦横断計画図を作成	
20	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事(切削オーバーレイ工)	N6	改質Ⅰ型を使用	
20	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事(切削オーバーレイ工)	N6	AS付着防止剤により合材剥離を抑える	
20	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事(切削オーバーレイ工)	N6	材料供給に合わせてAF施工速度を管理	
20	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事(切削オーバーレイ工)	N6	・クワリッパ(10t)・クワリッパ(12t)・クワリッパ(4t)	
20	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事(切削オーバーレイ工)	N6	2次転圧回数、通常4往復を倍に増やす	
20	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事(切削オーバーレイ工)	N6	基層工の平坦性を測定し、表面に反映	
20	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事(切削オーバーレイ工)	N6	二層目の切削幅をすらすし、一層目と二層目の継ぎ目をすらす	
20	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事(切削オーバーレイ工)	N6	交通解放温度45℃以下(接触温度計)	
20	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事(切削オーバーレイ工)	N6	水系測定によるツリ高補正	
20	(一) 下土狩徳倉沼津線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	改質Ⅱ型を採用	
20	(一) 下土狩徳倉沼津線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	適正締固め回数を重機に設置	
20	(一) 下土狩徳倉沼津線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	上層路盤における基準高管理・基層工での平坦性試験	
20	(一) 下土狩徳倉沼津線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	表基層工の継ぎ目は前日施工箇所から1m戻り切削する	
20	(一) 下土狩徳倉沼津線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	適正温度管理目標値を重機に設置	
20	(一) 下土狩徳倉沼津線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	交通解放温度40℃以下(表面温度計)	
20	(一) 下土狩徳倉沼津線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	2重ツリによる合材運搬	
20	(一) 富士清水線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N6	回帰曲線により締固め度を97%に設定しDSを確保	
20	(一) 富士清水線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N6	TV方式AF使用	
20	(一) 富士清水線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N6	5m ² ツリでの基準高管理	
20	(一) 富士清水線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N6	表基層、路盤とも継ぎ目は重ならないようにする	
20	(一) 富士清水線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N6	交通解放温度40℃以下(放射温度計)	
20	(一) 富士清水線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N6	切削、再生路盤、基層の3工種を日当り施工可能面積で完了する	
20	(主) 富士川身延線舗装補修(道路維持) 工事	N5	回帰曲線により締固め度を97%に改定しDSを確保	
20	(主) 富士川身延線舗装補修(道路維持) 工事	N5	・完全自動温度制御、熱風循環式クワリッパ・TV方式AF	
20	(主) 富士川身延線舗装補修(道路維持) 工事	N5	ハ-操作や気温の影響を受けにくいHTS採用のクワリッパ	
20	(主) 富士川身延線舗装補修(道路維持) 工事	N5	事前測量の結果に基づき縦横断の線形を計画し管理する	
20	(主) 富士川身延線舗装補修(道路維持) 工事	N5	10m ² ツリでの基準高管理	
20	(主) 富士川身延線舗装補修(道路維持) 工事	N5	表基層の縦継ぎ目は15cm以上の間隔を確保	
20	(主) 富士川身延線舗装補修(道路維持) 工事	N5	原則、横継ぎ目を施さない	
20	(主) 富士川身延線舗装補修(道路維持) 工事	N5	適切な舗装表面温度管理と合材の連続供給	
20	(主) 富士川身延線舗装補修(道路維持) 工事	N5	交通解放温度50℃以下(放射温度計)	
20	(主) 富士川身延線舗装補修(道路維持) 工事	N5	合材保温専用運搬車	
20	(主) 藤枝天竜線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	回帰曲線により締固め度を確保	
20	(主) 藤枝天竜線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	AF及びクワリッパの連続運転	
20	(主) 藤枝天竜線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	基層工での平坦性1.6mm	
20	(主) 藤枝天竜線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	10m ² ツリでの基準高管理	
20	(主) 藤枝天竜線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	40℃以下(表面温度計)舗装面早期冷却機を使用	
20	(主) 藤枝天竜線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	AFの連続運転による渋滞を避けるため夜間作業に変更	
20	(主) 藤枝天竜線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	合材出荷時の温度を5℃上げ2重ツリによる合材運搬	
20	(主) 藤枝天竜線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換工)	N5	NTTと事前に打ち合わせをし、舗装後のツリ高調整を依頼	

年度	工事件名	交通量	技術提案	
			内容	
20	(国) 362号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	回帰曲線により締固め度を確保	
20	(国) 362号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	AF及びU-の連続運転	
20	(国) 362号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	路盤工の重横断高さ管理を10ml ³ で実施・基層工での平坦性試験	
20	(国) 362号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	合材出荷温度を5℃高く設定し、合材温度低下を防ぐ	
20	(国) 362号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	交通解放温度40℃以下(冷却装置使用)、タイムスケジュールにより冷却養生時間を90分確保	
20	(国) 362号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	2重シートによる合材運搬	
20	(国) 150号沿道環境改善工事(舗装工)	N6	空隙率17%に下げること耐流動、磨耗、剥離性を改善	
20	(国) 150号沿道環境改善工事(舗装工)	N6	クレーン・水平振動ローラー・タイロウ	
20	(国) 150号沿道環境改善工事(舗装工)	N6	オートクリートセラー及びレーザーセラー式自動制御付AF	
20	(国) 150号沿道環境改善工事(舗装工)	N6	事前測量を10ml ³ で行い切削精度を向上	
20	(国) 150号沿道環境改善工事(舗装工)	N6	カッターで加熱し締め固める	
20	(国) 150号沿道環境改善工事(舗装工)	N6	前日施工箇所から表層2m、基層0.5m後退し切削する	
20	(国) 150号沿道環境改善工事(舗装工)	N6	冷却時間を確保する工程管理、各段階の目標値を設定	
20	(国) 150号沿道環境改善工事(舗装工)	N6	交通解放温度40℃以下(表面温度計)	
20	(国) 150号沿道環境改善工事(舗装工)	N6	導水管用のドリフト削孔は騒音低減のため昼間に実施	
20	(国) 150号沿道環境改善工事(舗装工)	N6	2重シートによる合材運搬	
20	(国) 150号沿道環境改善工事(舗装工)	N6	導水管の切削くすによる目詰まり防止のため路盤紙を敷く	
20	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事(性能規定)	N6	TA確保のため基層+1cm	
20	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事(性能規定)	N6	区間のCBR12%であったため当初設計CBRを変更	
20	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事(性能規定)	N6	グレードコントロール付AF使用	
20	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事(性能規定)	N6	2次転圧回数を通常より増やす・転圧回数表を重機に設置	
20	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事(性能規定)	N6	横断方向に1ml ³ でオートレベルにて現況地盤高を管理	
20	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事(性能規定)	N6	現況縦横断測量を10ml ³ で行い勾配変化点を減らす	
20	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事(性能規定)	N6	交通解放温度45℃以下(赤外線放射温度計)	
20	(主) 掛川浜岡線舗装補修(道路維持) 工事	N6	オートセラー付AF使用	
20	(主) 掛川浜岡線舗装補修(道路維持) 工事	N6	クレーン・水平振動ローラー(15t)・クレーン(7t)	
20	(主) 掛川浜岡線舗装補修(道路維持) 工事	N6	各段階の転圧回数を通常の1.5~2.0倍程度に設定	
20	(主) 掛川浜岡線舗装補修(道路維持) 工事	N6	10ml ³ での基準高管理	
20	(主) 掛川浜岡線舗装補修(道路維持) 工事	N6	各段階の温度管理目標値の設定	
20	(主) 掛川浜岡線舗装補修(道路維持) 工事	N6	交通解放温度45℃以下	
20	(主) 掛川浜岡線舗装補修(道路維持) 工事	N6	舗装時の障害物の仮撤去	
20	(主) 掛川浜岡線舗装補修(道路維持) 工事	N6	合材運搬車台数の設定、2重シートによる合材運搬	
19	(国) 414号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	ローラー式全自動クレーン付AF・連続施工を図る	
19	(国) 414号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	クレーン(6.5級)でローラー消去	
19	(国) 414号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	表基層工の継ぎ目は前日施工箇所から1m戻り切削する	
19	(国) 414号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	交通解放温度45℃以下	
19	(国) 414号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	計画縦横断図の作成	
19	(国) 414号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	2重シートによる合材運搬	
19	(主) 熱海函南線舗装補修(道路維持) 工事	N5	改質I型→改質II型に変更	
19	(主) 熱海函南線舗装補修(道路維持) 工事	N5	交通解放温度45℃以下	
19	(主) 沼津土肥線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	BH→切削機による取壊し・AS材のリサイクルを考慮し2層で切削	
19	(主) 沼津土肥線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	遷安施工時にクレーン・クレーン(100mm)を設置しAFのスクリーンを自動調整	
19	(主) 沼津土肥線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	クレーン(3t)・転圧回数を通常の6~7回から9回以上に設定	
19	(主) 沼津土肥線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	前日施工より3.5m(すりつけ部)後退し切削	
19	(主) 沼津土肥線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	温度管理目標値を設定(145℃以下は廃棄)	
19	(主) 沼津土肥線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	交通解放温度45℃以下	
19	(一) 下土狩徳倉沼津港線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	改質I型→改質II型に変更	
19	(一) 下土狩徳倉沼津港線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	交差点部に基層と路盤を兼ねた大粒径混合物(40)を使用	
19	(一) 下土狩徳倉沼津港線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	表層-1cm、基層+1cm(経済性を考慮)	
19	(一) 下土狩徳倉沼津港線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	交差点部の大粒径混合物は2cm程度高く仕上げ切削する	
19	(一) 下土狩徳倉沼津港線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	TV方式AF使用	
19	(一) 下土狩徳倉沼津港線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	クレーン(油圧式無断変速装置)使用	
19	(一) 下土狩徳倉沼津港線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	基層工完了時に平坦性試験を行う	
19	(一) 下土狩徳倉沼津港線舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	70℃以下(大粒径混合物施工部)	
19	(一) 富士清水線舗装補修(道路維持) 工事	N5	TV方式AF使用	
19	(一) 富士清水線舗装補修(道路維持) 工事	N5	クレーン使用	
19	(一) 富士清水線舗装補修(道路維持) 工事	N5	基準高管理で10ml ³ で実施	
19	(一) 富士清水線舗装補修(道路維持) 工事	N5	基層工の継ぎ目は前日施工箇所から1m戻り切削する	
19	(一) 富士清水線舗装補修(道路維持) 工事	N5	各段階の温度管理目標値の設定	
19	(一) 富士清水線舗装補修(道路維持) 工事	N5	交通解放温度40℃以下	
19	(一) 伊久美元島田線舗装補修(道路維持) 工事	N5	BH→切削機による取り壊し	
19	(一) 伊久美元島田線舗装補修(道路維持) 工事	N5	5連式超音波セラー付AF使用	
19	(一) 伊久美元島田線舗装補修(道路維持) 工事	N5	クレーン(4t)使用	
19	(一) 伊久美元島田線舗装補修(道路維持) 工事	N5	縦横断計画の測量を10ml ³ で実施	
19	(一) 伊久美元島田線舗装補修(道路維持) 工事	N5	表基層は起点から終点まで一連で施工する	
19	(一) 伊久美元島田線舗装補修(道路維持) 工事	N5	交通解放温度30℃以下	
19	(一) 静岡朝比奈藤枝線舗装補修(道路維持) 工事	N5	路盤、セラー共にセラーを使用	
19	(一) 静岡朝比奈藤枝線舗装補修(道路維持) 工事	N5	連続施工可能な合材運搬計画作成	
19	(一) 静岡朝比奈藤枝線舗装補修(道路維持) 工事	N5	事前測量を10ml ³ で実施	
19	(国) 150号沿道環境改善工事(舗装工)	N6	改質I型を使用	
19	(国) 150号沿道環境改善工事(舗装工)	N6	表層+1cm、基層-1cm	
19	(国) 150号沿道環境改善工事(舗装工)	N6	レーザーセラー式AF自動制御システム等	
19	(国) 150号沿道環境改善工事(舗装工)	N6	クレーン使用	
19	(国) 150号沿道環境改善工事(舗装工)	N6	継ぎ目は前日施工箇所から2m戻り切削する	
19	(国) 150号沿道環境改善工事(舗装工)	N6	厳しい温度管理目標値を設定	
19	(国) 150号沿道環境改善工事(舗装工)	N6	交通解放温度40℃以下	
19	(国) 150号沿道環境改善工事(舗装工)	N6	導水管の切削くすによる目詰まり防止のため路盤紙を敷く	
19	(国) 473号舗装補修(道路維持) 工事(性能規定方式)	N6	路上路盤再生工→加熱瀝青安定処理(基層厚+1cm)	
19	(国) 473号舗装補修(道路維持) 工事(性能規定方式)	N6	オートクリートセラーを取付け一定の速度で式均す・レーザーセラー式AF自動制御システム等	
19	(国) 473号舗装補修(道路維持) 工事(性能規定方式)	N6	クレーン使用	
19	(国) 473号舗装補修(道路維持) 工事(性能規定方式)	N6	交通解放温度40℃以下	
19	(国) 473号舗装補修(道路維持) 工事(性能規定方式)	N6	夜間施工に変更し、日当り施工量を拡大、継ぎ目箇所を減らす	
19	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N6	クレーン(3~4t)使用	
19	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N6	基準高管理を10ml ³ で実施	
19	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N6	表基層の継ぎ目が重ならないよう15cm以上確保する(横継ぎ目1m以上)	
19	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N6	継ぎ目は前日施工箇所から1m戻り切削する	
19	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N6	転圧機に温度セラーを設置し、カッターに転圧温度を周知する	
19	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N6	交通解放温度40℃以下	
19	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N6	2重シートによる合材運搬	
18	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	予備破砕を省略し作業の簡略、工程の短縮を図る	
18	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	ローラー式全自動クレーン付AF・連続運転を図る	
18	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	クレーン(6.5t)・クレーン(3.5級)	
18	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	再生路盤、基層においても基準高管理を行い表層に反映	
18	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	擦り付け開始地点より1m後退して切削・カッターで加熱	
18	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	各段階の温度管理表を設定	
18	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	交通解放温度45℃以下	
18	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	2重シートによる合材運搬	
18	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N6	合材よりも安価のため再生路盤の層厚を2cm厚く設計	
18	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N6	切削を二層で行う	
18	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N6	ローラー式全自動クレーン使用	
18	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N6	クレーン・クレーン(4t)使用	
18	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N6	切削高さ管理を10ml ³ とし路面切削の精度を上げる	
18	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N6	各段階の温度管理表を設定	
18	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N6	交通解放温度40℃以下	
18	(国) 469号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	改質II型を使用	
18	(国) 469号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	表層に改質II型を使用するため表層厚を薄く、基層厚を増して設計	
18	(国) 469号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	表基層の接着を速くするため、舗装端部へスリットを塗布	
18	(国) 469号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	TV方式AF・連続施工	
18	(国) 469号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	混合温度低下が懸念されるためクレーンを2台使用	
18	(国) 469号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	上層路盤における基準高管理・基層工での平坦性試験	
18	(国) 469号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	表基層の舗装体表面及び内部温度の管理・合材出荷、到着、敷均し、初転圧、二次転圧、解放温度の目標	
18	(国) 469号舗装補修(道路維持) 工事(舗装打換え)	N5	交通解放温度表面40℃・内部50℃以下	

年度	工事件名	交通量	技術提案	
			内容	
18	(一) 沼津小山線舗装補修(道路維持)工事(舗装補修工)	N5	改質Ⅱ型を使用	
18	(一) 沼津小山線舗装補修(道路維持)工事(舗装補修工)	N5	クダ M0-5(3t)を使用	
18	(一) 沼津小山線舗装補修(道路維持)工事(舗装補修工)	N5	計画縦横段図を作成し路盤以上の層の基準高管理を実施	
18	(一) 沼津小山線舗装補修(道路維持)工事(舗装補修工)	N5	表層工の継ぎ目は前日施工箇所から2m戻り切削する	
18	(一) 沼津小山線舗装補修(道路維持)工事(舗装補修工)	N5	各段階の温度管理表を設定	
18	(一) 沼津小山線舗装補修(道路維持)工事(舗装補修工)	N5	交通解放温度50℃以下(赤外線放射温度計使用)	
18	(一) 沼津小山線舗装補修(道路維持)工事(舗装補修工)	N5	2重シートによる合材運搬	
18	(一) 田子浦港富士インター線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N6	クダ M0-5(6~8t)を使用しローマークを解消	
18	(一) 田子浦港富士インター線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N6	計画縦横段図の作成	
18	(一) 田子浦港富士インター線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N6	再生路盤・表層の20m毎の細かな管理	
18	(一) 田子浦港富士インター線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N6	ガムナーで加熱	
18	(一) 田子浦港富士インター線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N6	横継ぎ目をなるべく設けないように事前に計画	
18	(一) 田子浦港富士インター線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N6	温度管理の徹底を図り、開放に十分な冷却時間を確保	
18	(一) 田子浦港富士インター線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N6	交通解放温度50℃以下(赤外線放射温度計使用)	
18	(一) 田子浦港富士インター線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N6	2重シートによる合材運搬	
18	(一) 伊久美藤枝線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N5	ツガ側予備切削により段差解消	
18	(一) 伊久美藤枝線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N5	ツガ付AF使用	
18	(一) 伊久美藤枝線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N5	クダ M0-5(6~8t)を使用しローマークを解消	
18	(一) 伊久美藤枝線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N5	事前測量を10ml ヲで行い路盤、基層工の基準高管理を実施	
18	(一) 伊久美藤枝線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N5	基層工の継ぎ目は前日施工箇所から2m戻り切削する	
18	(一) 伊久美藤枝線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N5	混合物製造及び施工温度管理表を設定	
18	(一) 伊久美藤枝線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N5	交通解放温度50℃以下	
18	(一) 伊久美藤枝線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N5	2重シートによる合材運搬	
18	(国) 473号舗装補修(道路維持)工事(性能規定方式)	N6	中間層改質Ⅰ型を設ける	
18	(国) 473号舗装補修(道路維持)工事(性能規定方式)	N6	グレードコントロール付AFを使用	
18	(国) 473号舗装補修(道路維持)工事(性能規定方式)	N6	2次転圧回数を増加	
18	(国) 473号舗装補修(道路維持)工事(性能規定方式)	N6	縦断測量を10ml ヲで行い実施	
18	(国) 473号舗装補修(道路維持)工事(性能規定方式)	N6	赤外線温度放射計を利用し測定頻度を増加	
18	(国) 473号舗装補修(道路維持)工事(性能規定方式)	N6	交通解放温度45℃以下	
18	(主) 掛川浜岡線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N6	基層に改質Ⅰ型を使用	
18	(主) 掛川浜岡線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N6	オートツガ付AF使用	
18	(主) 掛川浜岡線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N6	各転圧時の回数を設定	
18	(主) 掛川浜岡線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N6	基準高の管理箇所(間隔)を密にする(20m)	
18	(主) 掛川浜岡線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N6	運搬クダのバリエーションの把握と各段階における温度管理の設定	
18	(主) 掛川浜岡線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N6	交通解放温度45℃以下	
18	(主) 掛川浜岡線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N6	舗設時の障害物(マホールの)の撤去	
18	(主) 掛川浜岡線舗装補修(道路維持)工事(舗装打換え工)	N6	2重シートによる合材運搬	
18	(国) 152号舗装補修(道路維持)工事	N6	基層に改質Ⅱ型を使用	
18	(国) 152号舗装補修(道路維持)工事	N6	TV方式大型AF使用	
18	(国) 152号舗装補修(道路維持)工事	N6	敷き均し速度の管理	
18	(国) 152号舗装補修(道路維持)工事	N6	各段階の温度管理の徹底(デジタル温度計使用)	
18	(国) 152号舗装補修(道路維持)工事	N6	交通解放温度50℃以下	
18	(国) 152号舗装補修(道路維持)工事	N6	2重シートによる合材運搬	
18	(国) 257号沿道環境改善工事(排水性舗装工)	N6	基層に改質Ⅱ型を使用	
18	(国) 257号沿道環境改善工事(排水性舗装工)	N6	非接触式温度ツガを水平振動0-5に搭載	
18	(国) 257号沿道環境改善工事(排水性舗装工)	N6	交通解放温度45℃以下	
18	(国) 257号沿道環境改善工事(排水性舗装工)	N6	縦断勾配を把握し乳剤や切削くすを含んだ雨水の流入を避けるよう施工する	
17	(国) 414号舗装補修(道路維持)工事	N5	舗装厚さを5cm浅く設計し発生残土量を縮小し作業性を向上	
17	(国) 414号舗装補修(道路維持)工事	N5	バックホウから路面切削機へと変更(横断段差解消)	
17	(国) 414号舗装補修(道路維持)工事	N5	AFの連続施工	
17	(国) 414号舗装補修(道路維持)工事	N5	クダ M0-5(6.5t)使用	
17	(国) 414号舗装補修(道路維持)工事	N5	再生路盤・基層においても基準高管理を行い表層に反映	
17	(国) 414号舗装補修(道路維持)工事	N5	基準高管理を10ml ヲで行い実施	
17	(国) 414号舗装補修(道路維持)工事	N5	継ぎ目の段差を極力抑える	
17	(国) 414号舗装補修(道路維持)工事	N5	継ぎ目の段差を極力抑える	
17	(国) 414号舗装補修(道路維持)工事	N5	各段階の温度管理目標値を設定	
17	(国) 414号舗装補修(道路維持)工事	N5	交通解放温度45℃以下	
17	(国) 414号舗装補修(道路維持)工事	N5	合材運搬時の保温対策	
17	(国) 414号舗装補修(道路維持)工事	N5	計画縦断図の作成	
17	(主) 伊東大仁線舗装補修(道路維持)工事	N5	基層に改質Ⅰ型を使用	
17	(主) 伊東大仁線舗装補修(道路維持)工事	N5	縦横断の段差すりつけ幅をより確保する(40cm幅)	
17	(主) 伊東大仁線舗装補修(道路維持)工事	N5	切削厚さを薄くし工期短縮・発生AS殻の減少・振動騒音の軽減	
17	(主) 伊東大仁線舗装補修(道路維持)工事	N5	クダ M0-5(4t)を追加	
17	(主) 伊東大仁線舗装補修(道路維持)工事	N5	計画縦断図を作成	
17	(主) 伊東大仁線舗装補修(道路維持)工事	N5	計画縦断図及び勾配修正を10ml ヲで行い実施	
17	(主) 伊東大仁線舗装補修(道路維持)工事	N5	剥離等の破損を抑制するため交差点内を避けて設置	
17	(主) 伊東大仁線舗装補修(道路維持)工事	N5	交通解放温度40℃以下	
17	(主) 伊東大仁線舗装補修(道路維持)工事	N5	湧水による盛土崩壊を避けるため路盤構築から開削時間の短い再生路盤工へ変更	
17	(主) 熱海函南線舗装補修(道路維持)工事(排水性舗装工)	N5	高耐久型アスファルト混合物を使用	
17	(主) 熱海函南線舗装補修(道路維持)工事(排水性舗装工)	N5	空隙率を17%→20%に変更	
17	(主) 熱海函南線舗装補修(道路維持)工事(排水性舗装工)	N5	TV方式AF使用	
17	(主) 熱海函南線舗装補修(道路維持)工事(排水性舗装工)	N5	クダ M0-5(4.5t)使用	
17	(主) 熱海函南線舗装補修(道路維持)工事(排水性舗装工)	N5	基層工完了時に平坦性試験を実施	
17	(主) 熱海函南線舗装補修(道路維持)工事(排水性舗装工)	N5	交通解放温度45℃以下	
17	(主) 富士裾野線沿道環境改善工事(舗装工)	N5	空隙率を20%→21%に変更	
17	(主) 富士裾野線沿道環境改善工事(舗装工)	N5	切削管理測点を増やし、切削精度を上げる	
17	(主) 富士裾野線沿道環境改善工事(舗装工)	N5	小型切削機を導入することで施工速度を向上し施工段差を最小限にする	
17	(主) 富士裾野線沿道環境改善工事(舗装工)	N5	余分に施工し次回施工時に余分な箇所を削り取って施工する	
17	(主) 富士裾野線沿道環境改善工事(舗装工)	N5	交通解放温度45℃以下	
17	(主) 富士裾野線沿道環境改善工事(舗装工)	N5	MR2工法を採用し、マホールのを事前撤去し連続施工を図る	
17	(一) 朝霧富士宮線舗装補修(道路維持)工事(排水性舗装工)	N6	騒音低減効果を上げるため4cm→5cmに変更する	
17	(一) 朝霧富士宮線舗装補修(道路維持)工事(排水性舗装工)	N6	基層に改質Ⅱ型を使用	
17	(一) 朝霧富士宮線舗装補修(道路維持)工事(排水性舗装工)	N6	骨材最大粒径を13mm→10mm、空隙率を20%→21%に変更	
17	(一) 朝霧富士宮線舗装補修(道路維持)工事(排水性舗装工)	N6	切削管理測点を増やし、切削精度を上げる	
17	(一) 朝霧富士宮線舗装補修(道路維持)工事(排水性舗装工)	N6	TV方式AF(ツガ付)・乳剤散布装置付AF(表層)	
17	(一) 朝霧富士宮線舗装補修(道路維持)工事(排水性舗装工)	N6	2次転圧時に水平振動0-5を使用し(ツガ)効果	
17	(一) 朝霧富士宮線舗装補修(道路維持)工事(排水性舗装工)	N6	最適転圧回数を設定	
17	(一) 朝霧富士宮線舗装補修(道路維持)工事(排水性舗装工)	N6	表層部の締固め度を98%以上で管理	
17	(一) 朝霧富士宮線舗装補修(道路維持)工事(排水性舗装工)	N6	表層の継ぎ目が重ならないよう15cm以上確保する	
17	(一) 朝霧富士宮線舗装補修(道路維持)工事(排水性舗装工)	N6	表層の継ぎ目が重ならないよう1m以上確保する	
17	(一) 朝霧富士宮線舗装補修(道路維持)工事(排水性舗装工)	N6	最適温度管理目標値を設定	
17	(一) 朝霧富士宮線舗装補修(道路維持)工事(排水性舗装工)	N6	交通解放温度50℃以下	
17	(一) 朝霧富士宮線舗装補修(道路維持)工事(排水性舗装工)	N6	MR2工法を採用し、マホールのを事前撤去し連続施工を図る	
17	(主) 藤枝大井川線沿道環境改善工事(低騒音舗装工)	N6	タリ防止剤を使用	
17	(主) 藤枝大井川線沿道環境改善工事(低騒音舗装工)	N6	オートツガ付AF使用	
17	(主) 藤枝大井川線沿道環境改善工事(低騒音舗装工)	N6	管理測点を10ml ヲで行い設置	
17	(主) 藤枝大井川線沿道環境改善工事(低騒音舗装工)	N6	各段階の温度管理目標値を設定	
17	(主) 藤枝大井川線沿道環境改善工事(低騒音舗装工)	N6	交通解放温度50℃以下	
17	(主) 藤枝大井川線沿道環境改善工事(低騒音舗装工)	N6	計画縦断図を基に導水計算を行い導水管を設置する	
17	(主) 藤枝大井川線沿道環境改善工事(低騒音舗装工)	N6	2重シートによる合材運搬	
17	(国) 150号舗装補修(道路維持)工事	N6	基層に改質Ⅱ型を使用	
17	(国) 150号舗装補修(道路維持)工事	N6	切削幅2mの切削機でマキツ 数値に従い切削する	
17	(国) 150号舗装補修(道路維持)工事	N6	TV方式AF(ツガ付)使用	
17	(国) 150号舗装補修(道路維持)工事	N6	クダ M0-5(13.5t)使用	
17	(国) 150号舗装補修(道路維持)工事	N6	転圧回数を通常の1.3倍程度に設定	
17	(国) 150号舗装補修(道路維持)工事	N6	管理測点を10ml ヲで行い設置	
17	(国) 150号舗装補修(道路維持)工事	N6	表層の継ぎ目が重ならないよう5cm以上確保する	
17	(国) 150号舗装補修(道路維持)工事	N6	表層の継ぎ目が重ならないよう1m以上確保する	
17	(国) 150号舗装補修(道路維持)工事	N6	各段階の温度管理目標値を設定	
17	(国) 150号舗装補修(道路維持)工事	N6	交通解放温度50℃以下	
17	(国) 150号舗装補修(道路維持)工事	N6	仮BMの設置、縦横断測量を行い舗装計画を監督員に提出	
17	(国) 150号舗装補修(道路維持)工事	N6	2重シートによる合材運搬	

年度	工事件名	交通量	技術提案	
			内容	
17	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N6	基層に改質I型を使用	
17	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N6	路上再生路盤工を採用することで施工面積を拡大し継ぎ目を減少させる	
17	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N6	TV方式AF使用	
17	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N6	0-ト 0-5(10t以上)・タデ 0-5(13t以上)	
17	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N6	計画断面図を作成	
17	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N6	表基層の継ぎ目が重ならないよう15cm以上確保する	
17	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N6	表層工の継ぎ目は起終点のみとする	
17	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N6	交通解放温度40℃以下	
17	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N6	2~3重シートによる合材運搬	
17	(国) 152号舗装補修(道路維持) 工事	N6	基層に改質I型を使用(交差点付近)	
17	(国) 152号舗装補修(道路維持) 工事	N6	骨材粒度を粗めに設計し、表基層のDSの差を極力減らす	
17	(国) 152号舗装補修(道路維持) 工事	N6	ツガ-付大型AF(2~6m級)使用	
17	(国) 152号舗装補修(道路維持) 工事	N6	タデ 0-5に変更	
17	(国) 152号舗装補修(道路維持) 工事	N6	表基層の継ぎ目が重ならないよう15cm以上確保する	
17	(国) 152号舗装補修(道路維持) 工事	N6	前日施工継手を1m後退し、切削	
17	(国) 152号舗装補修(道路維持) 工事	N6	合材出荷目標温度を基層5℃、表層10℃高く設定	
17	(国) 152号舗装補修(道路維持) 工事	N6	交通解放温度50℃以下	
17	(国) 152号舗装補修(道路維持) 工事	N6	起終点部施工区間の切削によるすりつけ(合材剥離防止)	
17	(国) 152号舗装補修(道路維持) 工事	N6	2重シートによる合材運搬、合材温度管理の徹底	
17	(国) 257号沿道環境改善工事(排水性舗装工)	N5	改質H型(一般部)、ツリ抵抗性改善型改質H型を使用	
17	(国) 257号沿道環境改善工事(排水性舗装工)	N5	配合設計において粒度範囲を狭める(8~13mm)	
17	(国) 257号沿道環境改善工事(排水性舗装工)	N5	ツガ-付AF(2~6m級)使用	
17	(国) 257号沿道環境改善工事(排水性舗装工)	N5	タデ 0-5(6~10t)使用	
17	(国) 257号沿道環境改善工事(排水性舗装工)	N5	縦横断計画書を基に排水計画書を作成	
17	(国) 257号沿道環境改善工事(排水性舗装工)	N5	基準高管理を10mL ヴァで実施	
17	(国) 257号沿道環境改善工事(排水性舗装工)	N5	交通解放温度45℃以下	
17	(国) 257号沿道環境改善工事(排水性舗装工)	N5	2重シートによる合材運搬、合材温度管理の徹底	
16	(国) 136号舗装補修(道路維持) 工事	N5	改質I型に変更	
16	(国) 136号舗装補修(道路維持) 工事	N5	配合設計において粒度範囲を狭める(8~13mm)	
16	(国) 136号舗装補修(道路維持) 工事	N5	継ぎ目を減らすことのできる工程制り及び工区分けを提案	
16	(国) 136号舗装補修(道路維持) 工事	N5	各段階の温度管理を徹底	
16	(国) 414号線沿道環境改善工事(舗装工)	N5	表層を5cmに変更し敷き均し後の温度低下を抑制	
16	(国) 414号線沿道環境改善工事(舗装工)	N5	平坦性向上に併せて騒音発生減少効果について提案	
16	(国) 414号線沿道環境改善工事(舗装工)	N5	適切な合材運搬計画による連続作業を図る	
16	(国) 414号線沿道環境改善工事(舗装工)	N5	継ぎ手部等の品質管理に騒音測定車を提案	
16	(国) 414号線沿道環境改善工事(舗装工)	N5	マホ-ル周辺や継ぎ手部の施工法を提案	
16	(主) 三島停車場線舗装補修(道路維持) 工事(排水性舗装工)	N5	改質I型を使用	
16	(主) 三島停車場線舗装補修(道路維持) 工事(排水性舗装工)	N5	0-ト 0-5(10t)・タデ 0-5(7t)	
16	(主) 三島停車場線舗装補修(道路維持) 工事(排水性舗装工)	N5	敷き均し作業を連続で行うためツリ抵抗性を設定	
16	(主) 三島停車場線舗装補修(道路維持) 工事(排水性舗装工)	N5	縦横断計画図を作成	
16	(主) 三島停車場線舗装補修(道路維持) 工事(排水性舗装工)	N5	最適温度設定を行い、温度計及び触手により確認	
16	(主) 三島停車場線舗装補修(道路維持) 工事(排水性舗装工)	N5	交通解放温度45℃以下	
16	(主) 三島停車場線舗装補修(道路維持) 工事(排水性舗装工)	N5	2重シートによる合材運搬	
16	(主) 藤枝大井川線沿道環境改善工事(低騒音舗装工)	N6	細長、扁平な骨材が少なくなるよう改善	
16	(主) 藤枝大井川線沿道環境改善工事(低騒音舗装工)	N6	排水性混合物にタリ防止繊維を混合	
16	(主) 藤枝大井川線沿道環境改善工事(低騒音舗装工)	N6	ツガ-付AF使用	
16	(主) 藤枝大井川線沿道環境改善工事(低騒音舗装工)	N6	10mL ヴァで基準高管理を実施し切削精度を向上させる	
16	(主) 藤枝大井川線沿道環境改善工事(低騒音舗装工)	N6	転圧時の最適温度設定を行う	
16	(主) 藤枝大井川線沿道環境改善工事(低騒音舗装工)	N6	交通解放温度50℃以下	
16	(主) 藤枝大井川線沿道環境改善工事(低騒音舗装工)	N6	2重シートによる合材運搬	
16	(一) 住吉金谷線舗装補修(道路維持) 工事(性能規定方式)	N5	外路上再生工→再生加熱済安定処理工(環境に配慮)	
16	(一) 住吉金谷線舗装補修(道路維持) 工事(性能規定方式)	N5	既設舗装取り壊し後、既設路盤状況をマホ-リックにより確認	
16	(一) 住吉金谷線舗装補修(道路維持) 工事(性能規定方式)	N5	ツガ-付AF使用	
16	(一) 住吉金谷線舗装補修(道路維持) 工事(性能規定方式)	N5	タデ 0-5(7t)・タデ 0-5(13.5t)	
16	(一) 住吉金谷線舗装補修(道路維持) 工事(性能規定方式)	N5	既設舗装部はカマ-で加熱しながら施工	
16	(一) 住吉金谷線舗装補修(道路維持) 工事(性能規定方式)	N5	基層工完了後、横断方向は水系、縦断方向は平坦性試験を実施	
16	(一) 住吉金谷線舗装補修(道路維持) 工事(性能規定方式)	N5	縦断段差5cmに対して中央2mをすりつけし対応	
16	(一) 住吉金谷線舗装補修(道路維持) 工事(性能規定方式)	N5	表基層の継ぎ目が重ならないよう1m以上確保する(縦断15cm以上)	
16	(一) 住吉金谷線舗装補修(道路維持) 工事(性能規定方式)	N5	自社試験員を7 ヲトへ派遣	
16	(一) 住吉金谷線舗装補修(道路維持) 工事(性能規定方式)	N5	交通解放温度50℃以下(場合によっては強制冷却)	
16	(一) 住吉金谷線舗装補修(道路維持) 工事(性能規定方式)	N5	2重シートによる合材運搬	
16	(国) 150号他舗装補修(道路維持) 工事(切削オーバーレイ工)	N7	超重交通用改質AS使用	
16	(国) 150号他舗装補修(道路維持) 工事(切削オーバーレイ工)	N7	改質II型に変更	
16	(国) 150号他舗装補修(道路維持) 工事(切削オーバーレイ工)	N7	ツガ-付TV方式大型AF(7-9式)使用	
16	(国) 150号他舗装補修(道路維持) 工事(切削オーバーレイ工)	N7	タデ 0-5(12t)使用	
16	(国) 150号他舗装補修(道路維持) 工事(切削オーバーレイ工)	N7	7 ヲトと入念な打合せを行い合材の連続供給に努める	
16	(国) 150号他舗装補修(道路維持) 工事(切削オーバーレイ工)	N7	仮BMの設置、縦横断測量を行い舗装計画を監督員に提出	
16	(国) 150号他舗装補修(道路維持) 工事(切削オーバーレイ工)	N7	継ぎ目にはタリ防止剤を塗布する	
16	(国) 150号他舗装補修(道路維持) 工事(切削オーバーレイ工)	N7	表基層の継ぎ目が重ならないよう1m以上確保する(縦断15cm以上)	
16	(国) 150号他舗装補修(道路維持) 工事(切削オーバーレイ工)	N7	転圧時の最適温度設定を行う	
16	(国) 150号他舗装補修(道路維持) 工事(切削オーバーレイ工)	N7	交通解放温度50℃以下	
16	(国) 150号他舗装補修(道路維持) 工事(切削オーバーレイ工)	N7	2重シートによる合材運搬	
16	(主) 浜松環状線舗装補修(道路維持) 工事(舗装修繕工)	N6	改質II型上質性状品使用	
16	(主) 浜松環状線舗装補修(道路維持) 工事(舗装修繕工)	N6	改質II型を使用	
16	(主) 浜松環状線舗装補修(道路維持) 工事(舗装修繕工)	N6	C交通の路線であるが渋滞を考慮しD交通対応のバインダーを設定	
16	(主) 浜松環状線舗装補修(道路維持) 工事(舗装修繕工)	N6	ツガ-付TV方式大型AF使用	
16	(主) 浜松環状線舗装補修(道路維持) 工事(舗装修繕工)	N6	0-ト 0-5(10t以上)・タデ 0-5(13t)	
16	(主) 浜松環状線舗装補修(道路維持) 工事(舗装修繕工)	N6	表基層の継ぎ目が重ならないよう、前施工部30cm後退し施工(15cm以上確保)	
16	(主) 浜松環状線舗装補修(道路維持) 工事(舗装修繕工)	N6	表基層の継ぎ目が重ならないよう、前施工部1m後退し施工(1m以上確保)	
16	(主) 浜松環状線舗装補修(道路維持) 工事(舗装修繕工)	N6	各段階の最適温度設定を行う	
16	(主) 浜松環状線舗装補修(道路維持) 工事(舗装修繕工)	N6	交通解放温度40℃以下	
16	(主) 浜松環状線舗装補修(道路維持) 工事(舗装修繕工)	N6	合材の冷却時間を確保するための日当り施工量を設定	
16	(主) 浜松環状線舗装補修(道路維持) 工事(舗装修繕工)	N6	2~3重シートによる合材運搬	
15	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	改質II型を使用	
15	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	基層に改質I型を使用	
15	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	より良い品質管理を確保するため施工形態を変更	
15	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	タデ 0-5を使用	
15	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	0-5への合材付着防止剤にはタリ防止剤の水溶液を用いる	
15	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	交通解放温度50℃以下	
15	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	合材到着時間を調整し連続施工に努める	
15	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	改質II型を使用	
15	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	基層に改質I型を使用	
15	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	表基層工は片側一車線連続施工	
15	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	タデ 0-5付全自動加-ラ-式AF・マホ-リックを連続加熱	
15	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	タデ 0-5を使用	
15	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	基準高管理を10mL ヴァで実施する	
15	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	各段階毎に温度管理表を設定	
15	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	交通解放温度40℃以下	
15	(国) 135号舗装補修(道路維持) 工事	N5	細長、扁平な骨材が少なくなるよう改善	
15	(主) 中島南安倍線沿道環境改善工事(排水性舗装工)	N6	基層に改質I型を使用	
15	(主) 中島南安倍線沿道環境改善工事(排水性舗装工)	N6	表層を5cmに変更し敷き均し後の温度低下を抑制	
15	(主) 中島南安倍線沿道環境改善工事(排水性舗装工)	N6	C交通路線であるが大渋滞を考慮しD交通対応のバインダーを基層に設定	
15	(主) 中島南安倍線沿道環境改善工事(排水性舗装工)	N6	超音波式マホ-リック付AF	
15	(主) 中島南安倍線沿道環境改善工事(排水性舗装工)	N6	タデ 0-5を使用	
15	(主) 中島南安倍線沿道環境改善工事(排水性舗装工)	N6	高粘度改質ASは最適締め温度範囲の広いものを選択	
15	(一) 清水インター線道路補修(道路維持) 工事	N6	静岡2号改質II型を使用	
15	(一) 清水インター線道路補修(道路維持) 工事	N6	基層に改質I型を使用	
15	(一) 清水インター線道路補修(道路維持) 工事	N6	2層で切削を行い、切削精度を向上させる	
15	(一) 清水インター線道路補修(道路維持) 工事	N6	TV方式AF(ツガ-付)を使用	
15	(一) 清水インター線道路補修(道路維持) 工事	N6	基層工完了後、平坦性試験を実施	
15	(一) 清水インター線道路補修(道路維持) 工事	N6	基準高管理を10mL ヴァで実施する	
15	(一) 清水インター線道路補修(道路維持) 工事	N6	7 ヲトと入念な打合せを行い合材の連続供給に努める	

年度	工事件名	交通量	技術提案	
				内容
15	(主) 島田川根線舗装補修(道路維持) 舗装打換工事	N6		骨材配合粒度を粗めに設計
15	(主) 島田川根線舗装補修(道路維持) 舗装打換工事	N6		基層に改質Ⅰ型を使用
15	(主) 島田川根線舗装補修(道路維持) 舗装打換工事	N6		TV方式AF(セガ-付)を使用
15	(主) 島田川根線舗装補修(道路維持) 舗装打換工事	N6		冷却装置付タイロ-う(25t)を使用
15	(主) 島田川根線舗装補修(道路維持) 舗装打換工事	N6		施工継ぎ目はミッドレイヤーで乳剤を散布
15	(主) 島田川根線舗装補修(道路維持) 舗装打換工事	N6		各段階毎に温度管理表を設定
15	(主) 島田川根線舗装補修(道路維持) 舗装打換工事	N6		計画高の調整等により既設横断排水溝の適切な処置をする
15	(国) 150号舗装補修(性能規定) 工事	N6		骨材配合粒度を粗めに設計
15	(国) 150号舗装補修(性能規定) 工事	N6		基層に改質Ⅰ型を使用
15	(国) 150号舗装補修(性能規定) 工事	N6		基層工完了後、横断方向は水系、縦断方向は平坦性試験を実施
15	(国) 150号舗装補修(性能規定) 工事	N6		セガ-付AFを使用
15	(国) 150号舗装補修(性能規定) 工事	N6		タイロ-う(7t)を使用
15	(国) 150号舗装補修(性能規定) 工事	N6		仮BMの設置、縦横断測量を行い舗装計画を監督員に提出
15	(国) 150号舗装補修(性能規定) 工事	N6		表基層の継ぎ目が重ならないよう15cm以上確保する
15	(国) 150号舗装補修(性能規定) 工事	N6		表基層の継ぎ目が重ならないよう1m以上確保する
15	(国) 150号舗装補修(性能規定) 工事	N6		自社試験員をプラントへ派遣する
15	(国) 150号舗装補修(性能規定) 工事	N6		交通解放温度50℃以下(場合によっては強制冷却)
15	(国) 150号舗装補修(性能規定) 工事	N6		2重シートによる合材運搬とし、合材の到着時間の遅れがないよう密に連絡をとる
15	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N7		中間層にDSが表層に近いタイプを使用
15	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N7		計画重横断を設定し切削量、切削高さを算出
15	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N7		セガ-付AF(2.5~6m級)を使用
15	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N7		振動ロ-う(3t程度)を使用
15	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N7		仮BMの設置、縦横断測量を行い舗装計画を監督員に提出
15	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N7		交通解放温度50℃以下
15	(国) 150号舗装補修(道路維持) 工事	N7		2重シートによる合材運搬
15	(国) 152号沿道環境改善工事(舗装修繕工)	N6		骨材最大粒度13mm→10mmに変更
15	(国) 152号沿道環境改善工事(舗装修繕工)	N6		MAP工法により2層で敷き均す
15	(国) 152号沿道環境改善工事(舗装修繕工)	N6		施工完了時に7ルートで覆い目詰まりを防ぐ
15	(国) 152号沿道環境改善工事(舗装修繕工)	N6		各段階の温度管理の徹底
15	(国) 152号沿道環境改善工事(舗装修繕工)	N6		交通解放温度50℃以下
15	(主) 浜松環状線舗装補修(道路維持) 工事(舗装修繕工)	N6		基層に改質Ⅱ型に変更
15	(主) 浜松環状線舗装補修(道路維持) 工事(舗装修繕工)	N6		交通解放温度40℃以下
14	(一) 富士停車場線舗装補修(道路維持) 工事(排水性舗装工)	N7		排水性AS→高耐久改質AS(13)に変更
14	(一) 富士停車場線舗装補修(道路維持) 工事(排水性舗装工)	N7		マダロ-う(10~12t)・タイロ-う(8~20t)・タイロ-う(6~10t)を使用
14	(一) 富士停車場線舗装補修(道路維持) 工事(排水性舗装工)	N7		交通解放温度45℃
14	(一) 富士停車場線舗装補修(道路維持) 工事(排水性舗装工)	N7		過去の実績資料を用いて提案内容の根拠を示す